

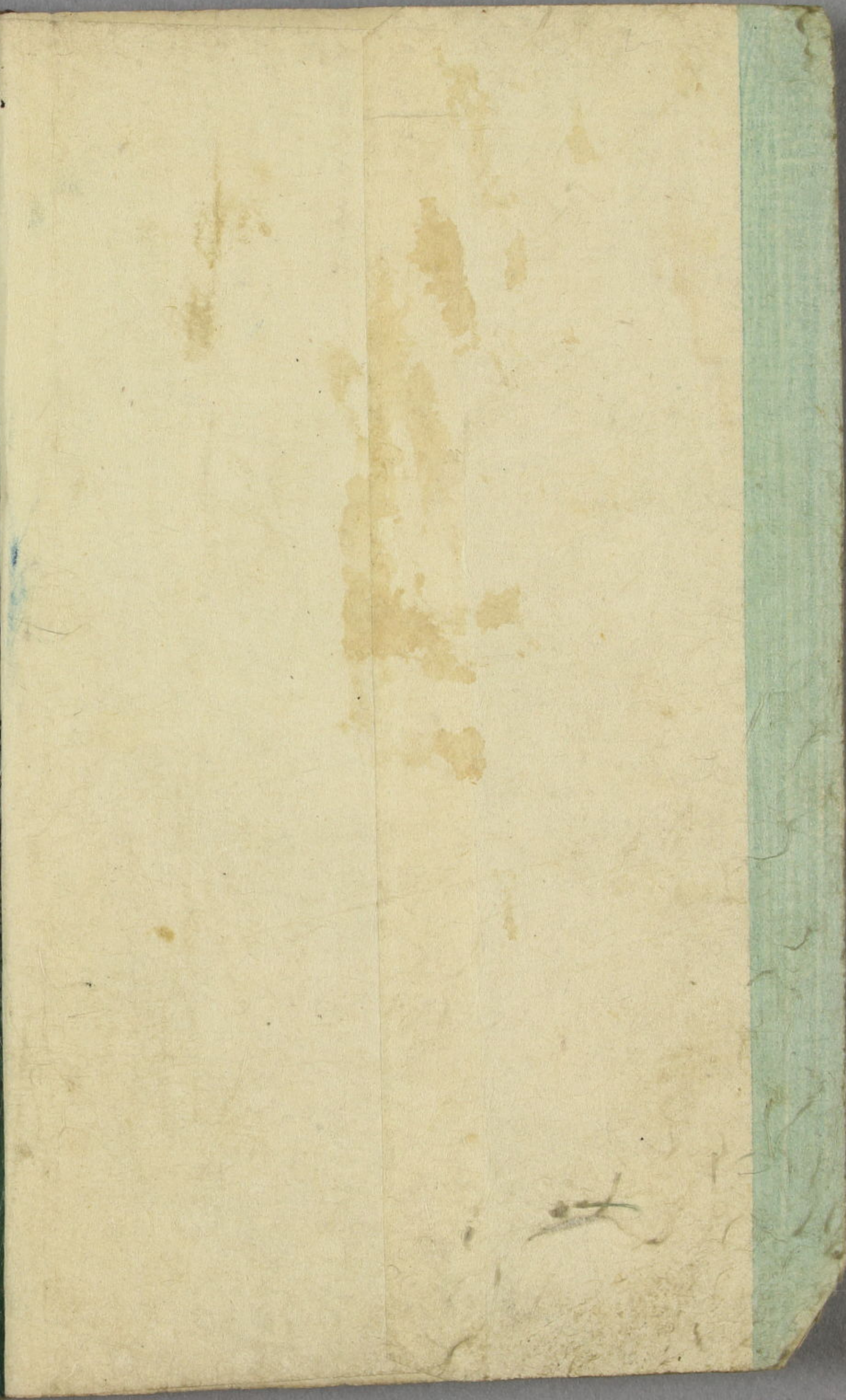
椿
國
也
五
端
椿
說
鬼
魁

~ 13
3758
3





上
外題
夢
之
國
密



門 13
號 3758
卷 3

椿説鬼魅

談語五編

上之卷

為永春水作
一壽齋國貞画

榮久堂梓

九



道の味ひの奈何と問ひし孔子のこれと苦いと
いひ老子は是を酸といふ釋迦の味の甘といふ
いづれも深意のるべきを生悟りある作者の当推
婦如稚童を導くは甘たて且んて筆先不唇
まゆめたる鬼魅談語の拙なる手作の新制衣連
も名代の名物のと名をとる迄あり至らざる初編と
一盆召のつらばある趣向のつらばある難いお瓶
焦る共尚幾編もを替りて廢幾どと販元仕急
催促小由り咥と突抜小復這五編をいふは
戊午 青陽 為永春水記

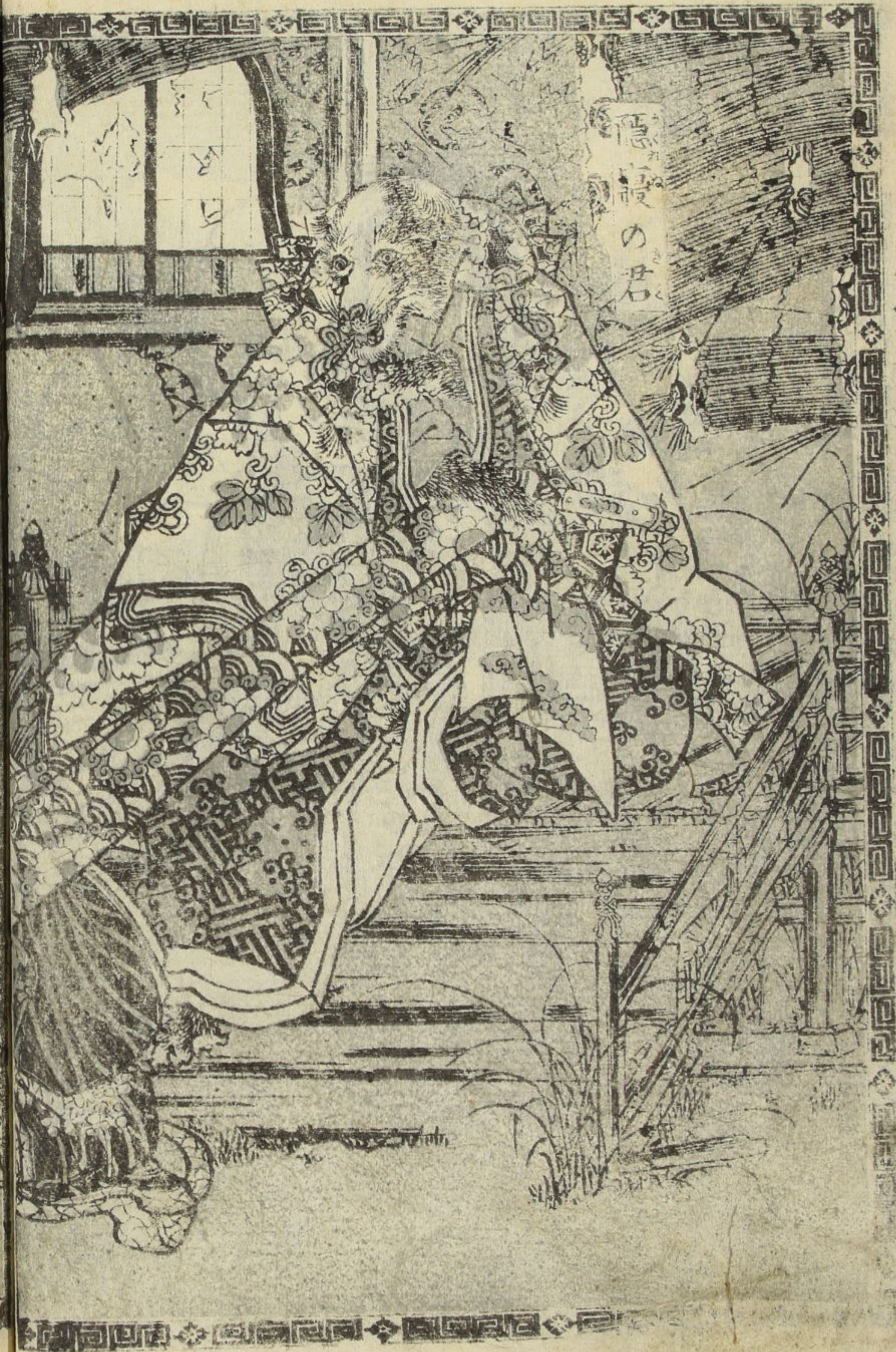


野の白狐の
晒の妓



空の狐の
緋の妓

鬼魁談話五編



鬼魁評言五



鬼鬼談評五編

いかにしてやんばつらんと
とあるのたゆむらふと
いかにしてやんばつらんと
とあるのたゆむらふと



いかにしてやんばつらんと
とあるのたゆむらふと
いかにしてやんばつらんと
とあるのたゆむらふと

いかにしてやんばつらんと
とあるのたゆむらふと
いかにしてやんばつらんと
とあるのたゆむらふと



いかにしてやんばつらんと
とあるのたゆむらふと
いかにしてやんばつらんと
とあるのたゆむらふと

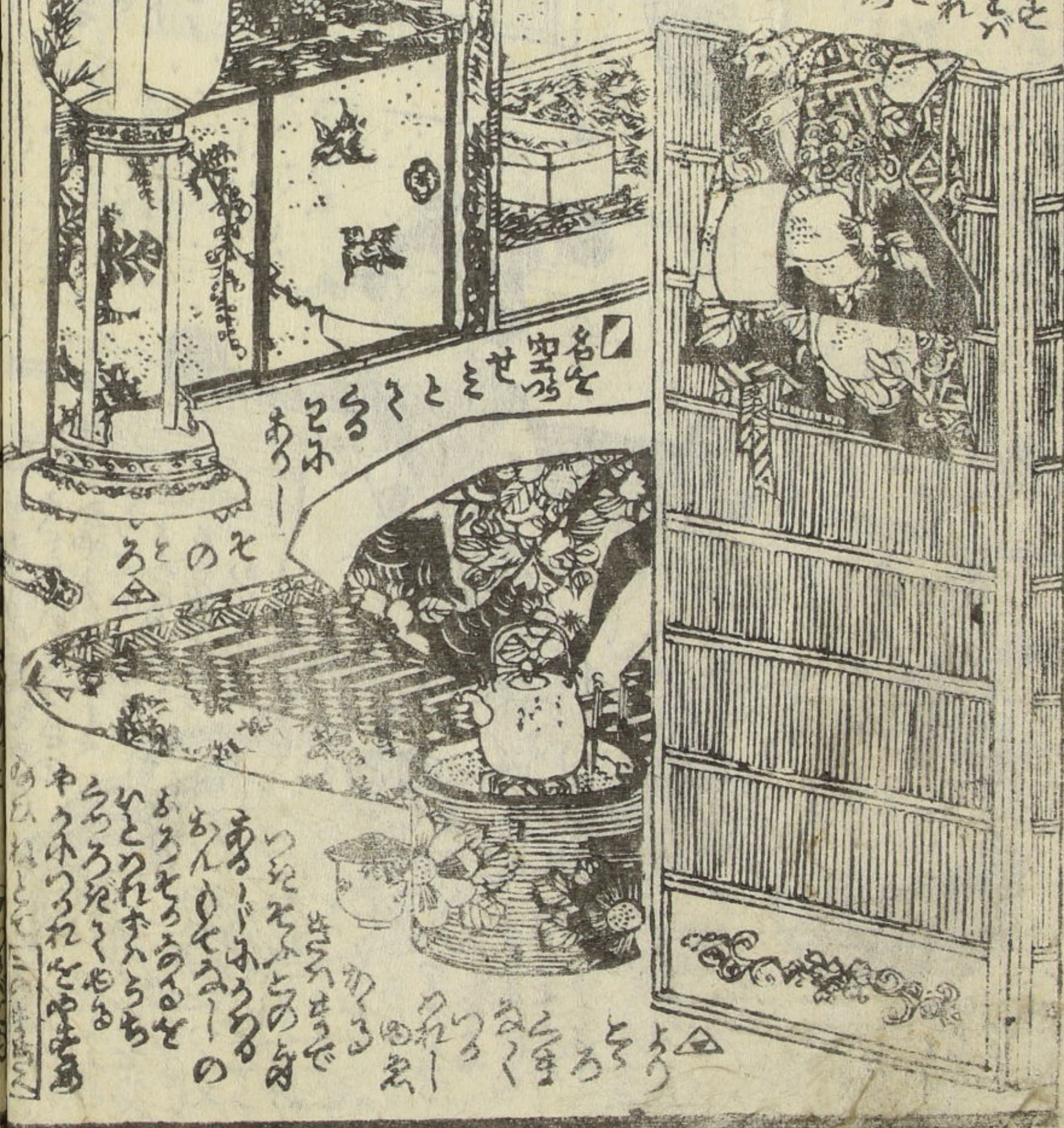
ありはひのあはせ
 のゆきやまきく
 とまめめきしつ
 やうてふとせ
 ありはひのあはせ
 のゆきやまきく
 とまめめきしつ
 やうてふとせ
 ありはひのあはせ
 のゆきやまきく
 とまめめきしつ
 やうてふとせ

是述火吾五編



ありはひのあはせ
 のゆきやまきく
 とまめめきしつ
 やうてふとせ
 ありはひのあはせ
 のゆきやまきく
 とまめめきしつ
 やうてふとせ

ありはひのあはせ
 のゆきやまきく
 とまめめきしつ
 やうてふとせ
 ありはひのあはせ
 のゆきやまきく
 とまめめきしつ
 やうてふとせ



ありはひのあはせ
 のゆきやまきく
 とまめめきしつ
 やうてふとせ
 ありはひのあはせ
 のゆきやまきく
 とまめめきしつ
 やうてふとせ

是述火吾五編



月夜に
 草花の
 水辺に
 月影を
 照らす
 静かな
 夜更け
 の光景
 を描いた
 挿絵



戦場の
 静寂
 月夜に
 戦場の
 静寂

月夜

戦場の
 静寂
 月夜に
 戦場の
 静寂

文慶堂藏板略目録



魚尾詩話玉巻

國貞画春水作

新撰柳花志げり

柳花志げり... (Vertical text describing the work)

永代萬壽花末

永代萬壽花末... (Vertical text describing the work)

消長花末

消長花末... (Vertical text describing the work)

農家必要田舎徒末

農家必要田舎徒末... (Vertical text describing the work)

源氏銘刀誌

源氏銘刀誌... (Vertical text describing the work)

地本草紙問屋 大國屋金治郎

人形町通 橋留町



橘悦 榮久
玉のみ
編たんで

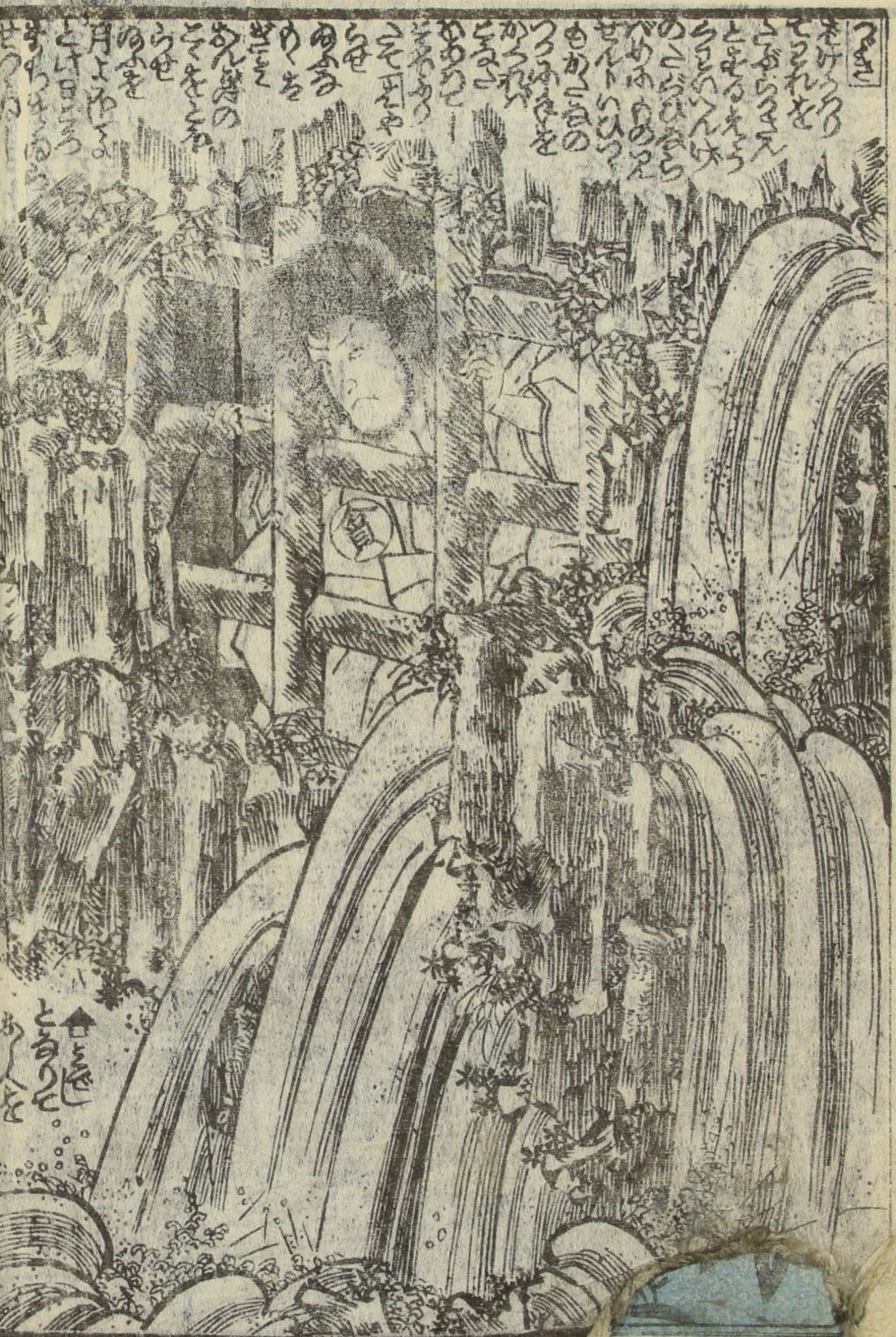
國貞堂

下



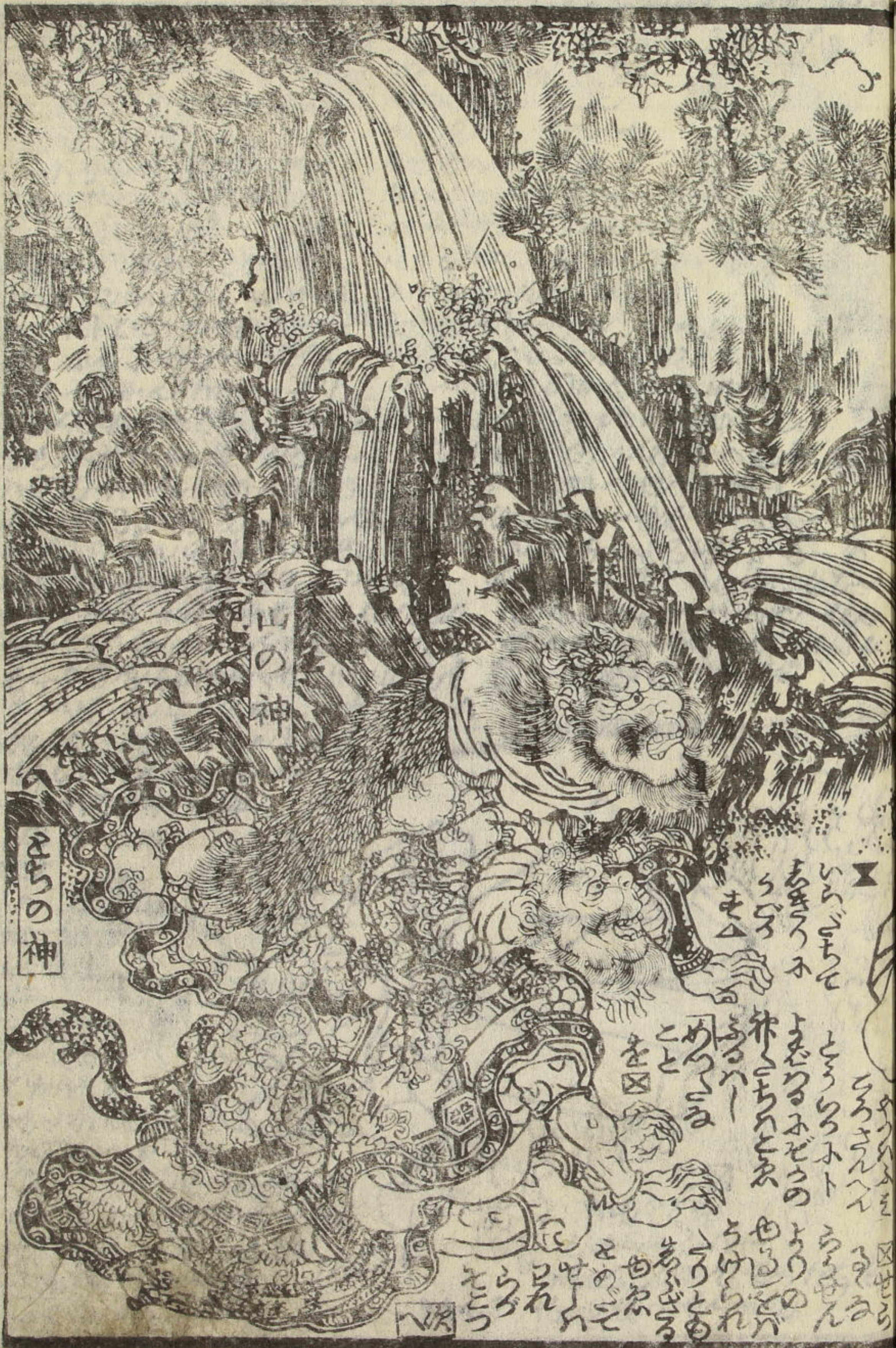


鬼島奇談



鬼島奇談 第五回

一



山の神

蛇の神



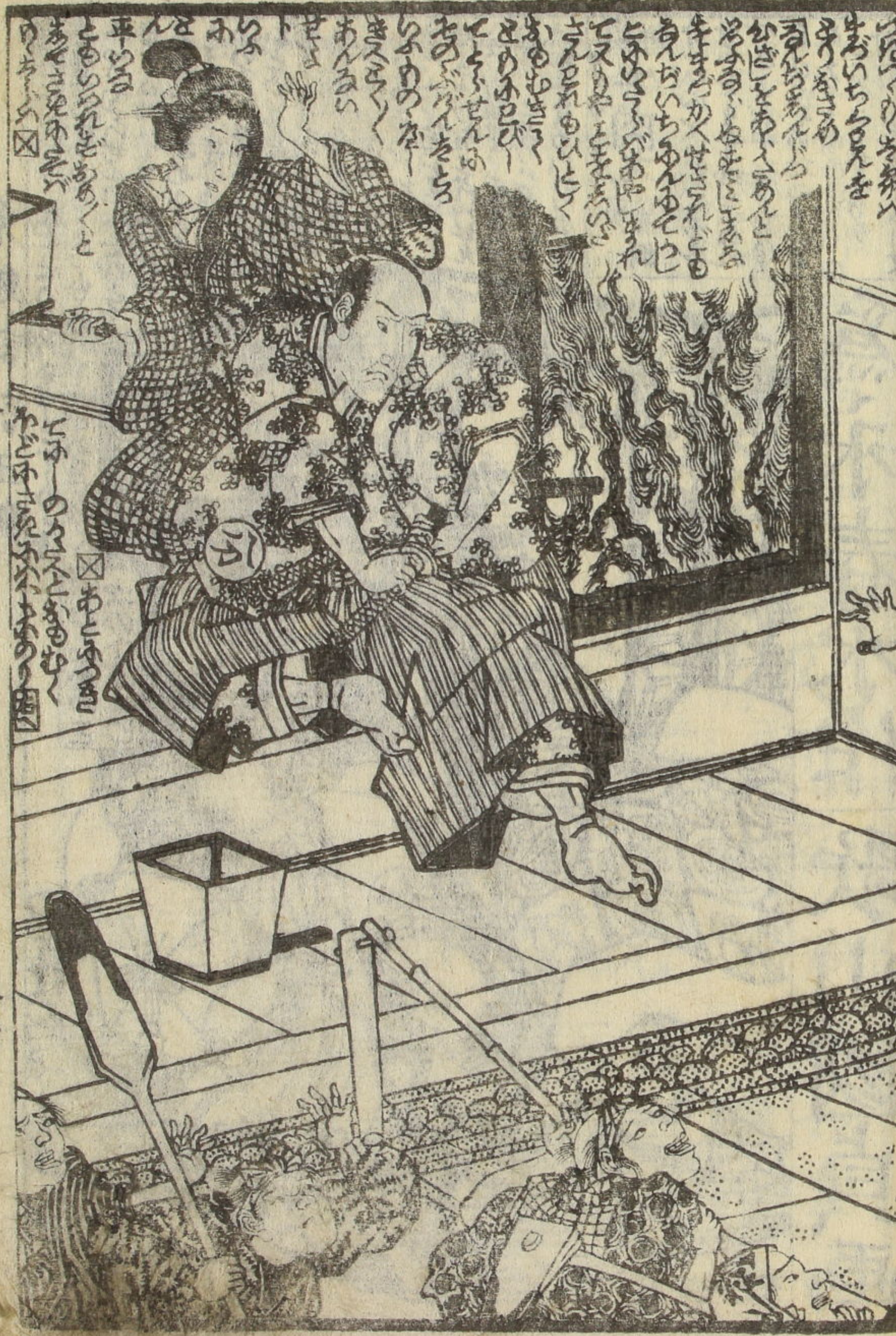
貪



此の世に... 鬼魁談義... 五編... 此の世に...

此の世に... 鬼魁談義... 五編... 此の世に...





平次郎
 平次郎の
 平次郎の
 平次郎の

平次郎の
 平次郎の
 平次郎の
 平次郎の

平次郎の
 平次郎の
 平次郎の
 平次郎の



平次郎の
 平次郎の
 平次郎の
 平次郎の

平次郎の
 平次郎の
 平次郎の
 平次郎の

平次郎の
 平次郎の
 平次郎の
 平次郎の

朝鮮牛肉丸 百銅
分一ひねを補ひあん
甘のをまきゆきあられ
ハきよあわくの人のま
用ひてその功のよま
とらうとぬん
下谷まきせんがり
對以 米寄大製



為永春水作歌川國貞画

官川の雀の舞
救世妙智達磨軸
靱繪紋劇袴
歌川國貞画

三人娘絹屋小説
初編 同
二編 同
三編 同
作

新四季の撰
たの遊山壽古六
この歌は遠くから来たもの
十三年の中 歌川國貞の
下谷まきせんがり
Winnipeg, Manitoba, Canada

彩板
福引ひじ
ひじはひじのひじ
ひじひじひじひじ
ひじひじひじひじ
ひじひじひじひじ

安政七庚申歳新發行目錄

地本草紙問屋
人形町通
堀留町
文應堂
大國屋
金治郎



椿説鬼魅談語
編

榮久堂梓



桃太郎
鬼嶋記

椿説鬼魅談語 六篇
上冊



美作
國貞画
山本
椿

桃郎鬼島之撃手の傳ハ老婆の兒啼と止むる此具よりて
齊東野語の類多れども當初這語を造る者託する所何
でやあらん夫桃の木行きて五常み比べ仁小位を仁ハ八行の第一
ある人々仁を禽獸より異る妻あり余ハ三歳の稚童
も聞小隨ハ心小執てその桃太郎はあつて欲も是もその仁小基
とある天地自然の理あるは欲道ハかろくは迹小つと聖乃文も
載らるる例の作者が耳栗小儒佛神道混交の挽拍を有す
鬼魅談語第六編と丸めあげしも復是兒啼と賺老の具よりん

巳未陽春新鐫

(十八)

爲永春水誌



門戌癡々六

山本五右衛門

樹上



猪戒八

身魚吉司六

狙手貪平



孫悟空

樹下

五編よりへんき
おんまひさく

ちのりくき多と
ごん平とぬき
びとありと
ありふあを
それからあ
ふトバち
まれの
むらひと
あひへ



ちのりくき多と
ごん平とぬき
びとありと
ありふあを
それからあ
ふトバち
まれの
むらひと
あひへ

△上のまはれが
あひへまはれが
あひへまはれが
あひへまはれが
あひへまはれが

あひへまはれが
あひへまはれが
あひへまはれが
あひへまはれが
あひへまはれが



五編よりへんき
おんまひさく

あひへまはれが
あひへまはれが
あひへまはれが
あひへまはれが
あひへまはれが

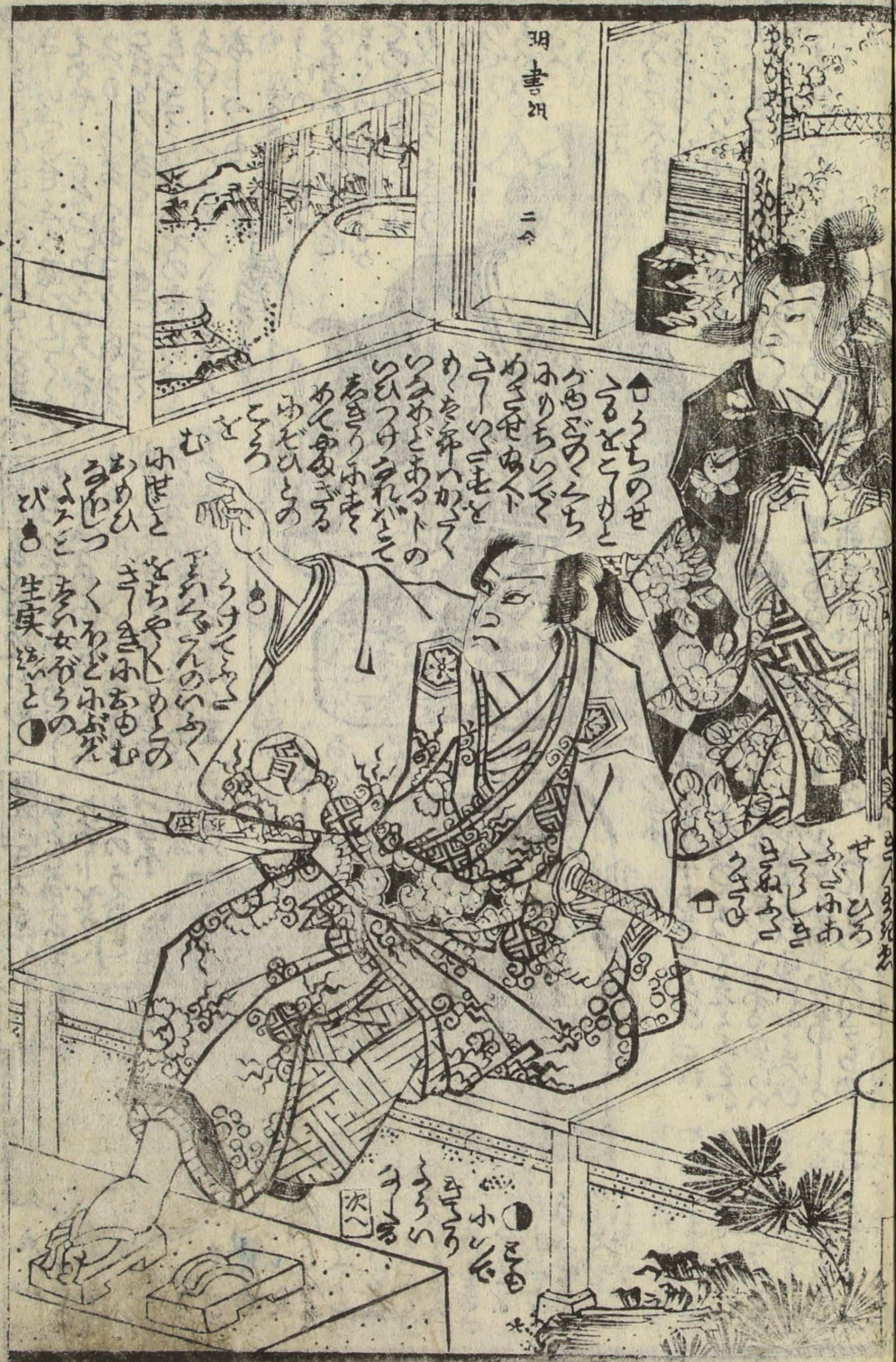
あひへまはれが
あひへまはれが
あひへまはれが
あひへまはれが
あひへまはれが



鬼法談話六編



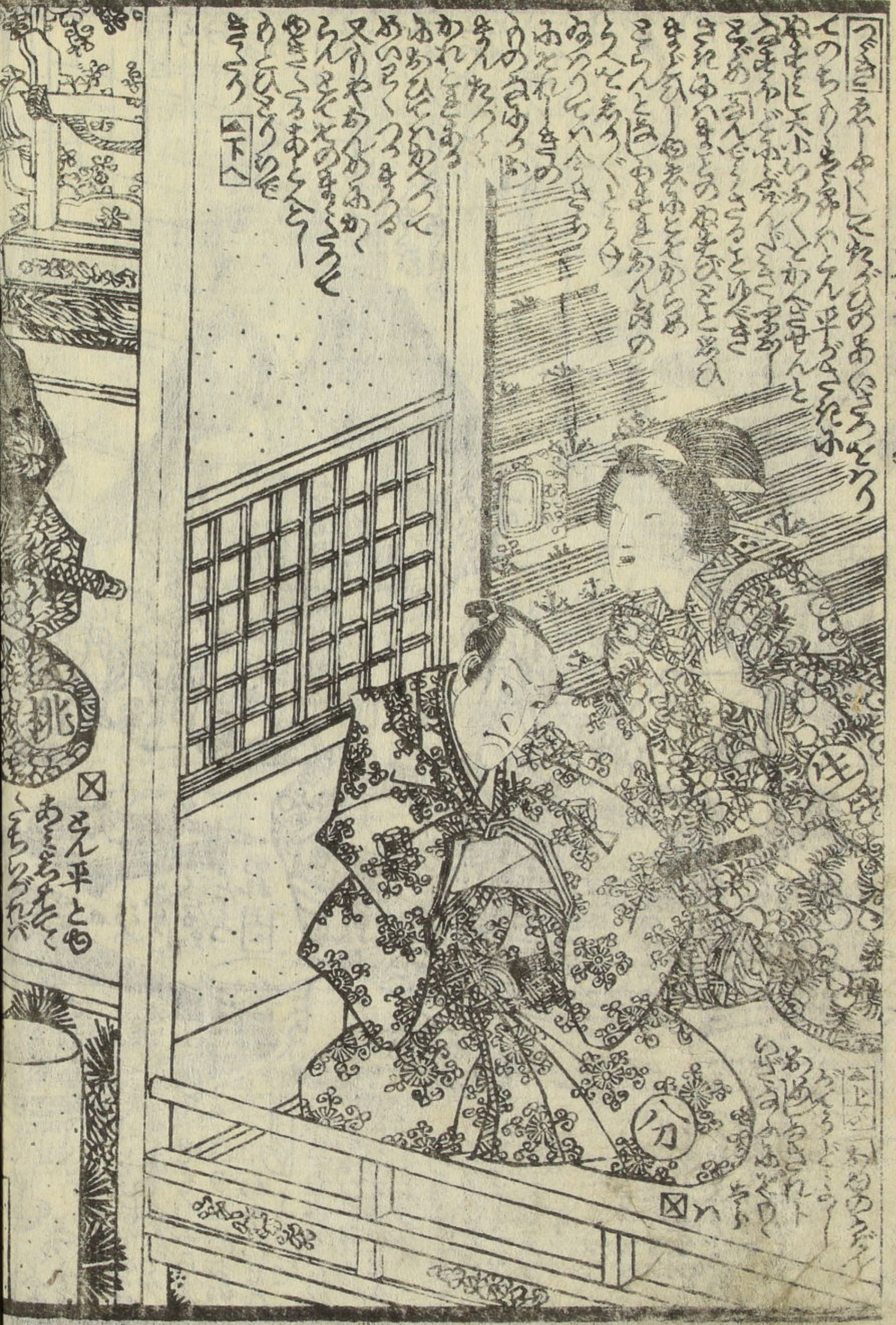
鬼法談話六編



右のいせ
のいせのいせ
のいせのいせ
のいせのいせ
のいせのいせ
のいせのいせ
のいせのいせ
のいせのいせ
のいせのいせ
のいせのいせ

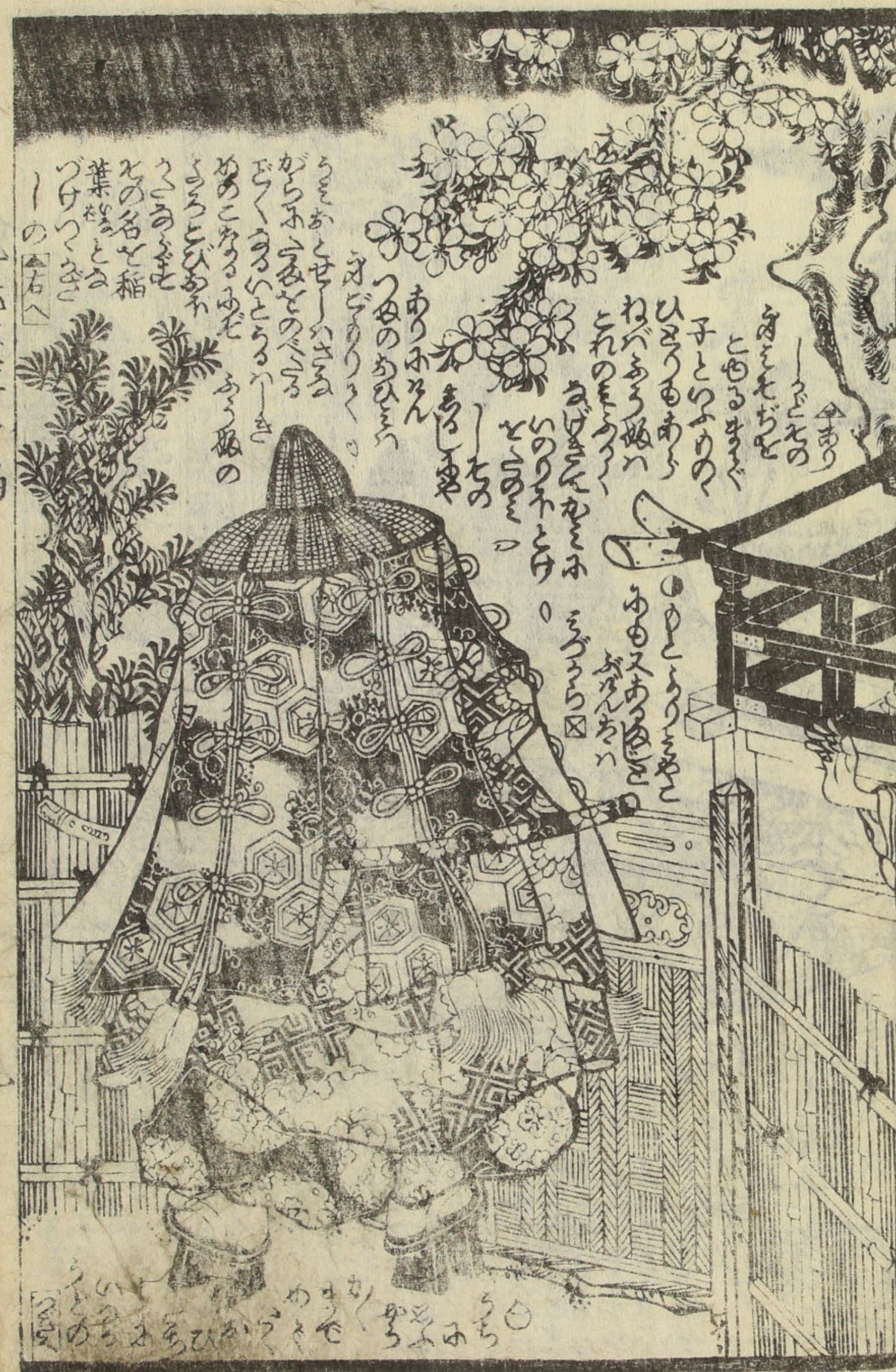
右平と
あまのいせ
のいせのいせ
のいせのいせ

羽書出
ニ



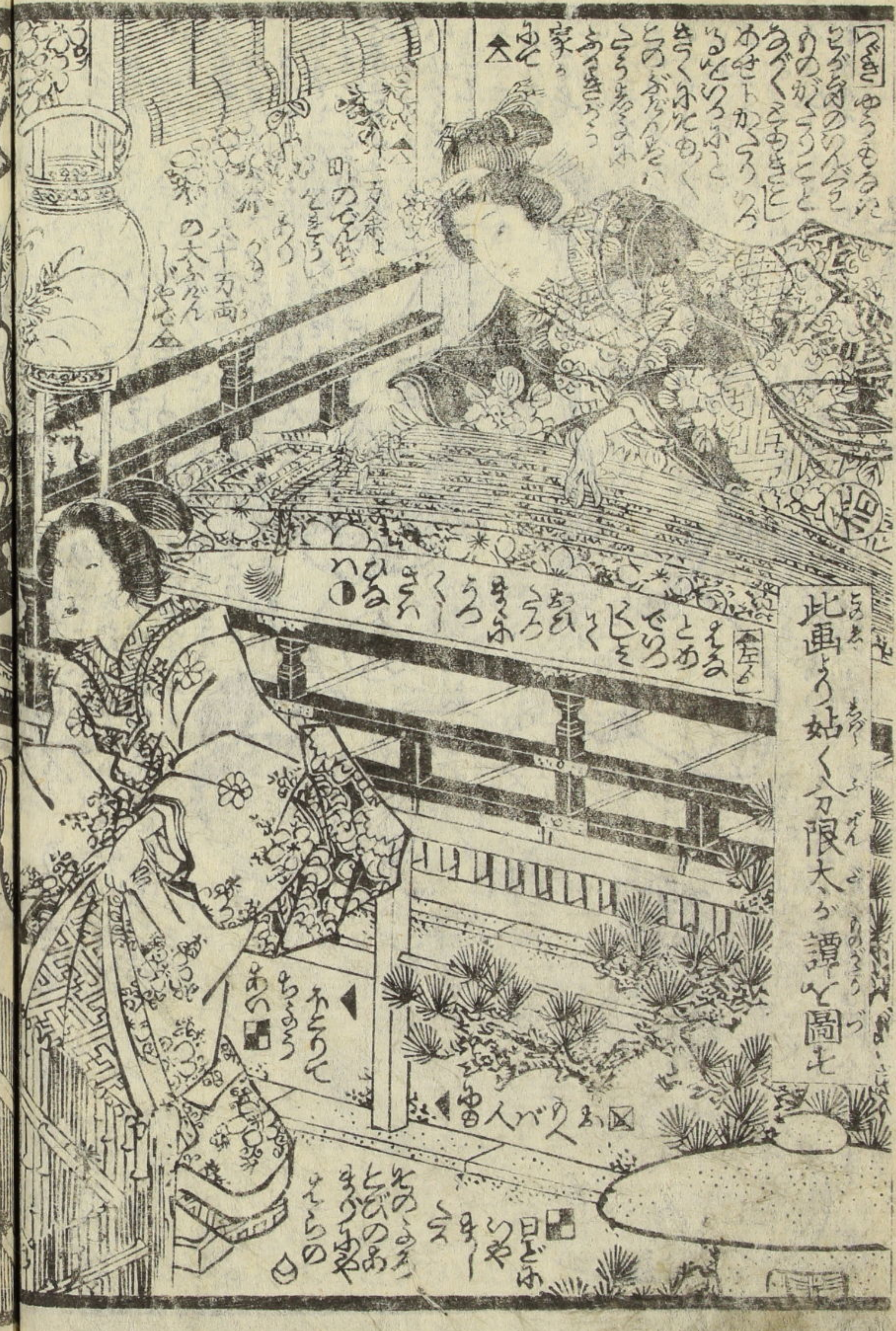
右のいせ
のいせのいせ
のいせのいせ
のいせのいせ
のいせのいせ
のいせのいせ
のいせのいせ
のいせのいせ
のいせのいせ
のいせのいせ

右のいせ
のいせのいせ
のいせのいせ
のいせのいせ
のいせのいせ
のいせのいせ
のいせのいせ
のいせのいせ
のいせのいせ
のいせのいせ



ちやうど...
 むぎはら...
 ちやうど...
 むぎはら...
 ちやうど...
 むぎはら...

ちやうど...
 むぎはら...
 ちやうど...
 むぎはら...
 ちやうど...
 むぎはら...



ちやうど...
 むぎはら...
 ちやうど...
 むぎはら...
 ちやうど...
 むぎはら...

ちやうど...
 むぎはら...
 ちやうど...
 むぎはら...
 ちやうど...
 むぎはら...

ちやうど...
 むぎはら...

此画は姑く分限大分譚と圖七



舟鬼詩話



舟鬼詩話

文慶堂藏板略目録

新撰 柳花志

初編 二の中古より流布せし月折屋の記
 白の甲ふんとうこころをなすをあらう
 画入りしもの上の中より白の本
 多々くしきも一うたたり

永代高亭性系 兩京講釈附

百人一首雅文庫

清見性系 近刻

農家必要 田舎性系 近刻

源氏銘刀誌 中本一冊 近刻

小唱文庫 二編 三編

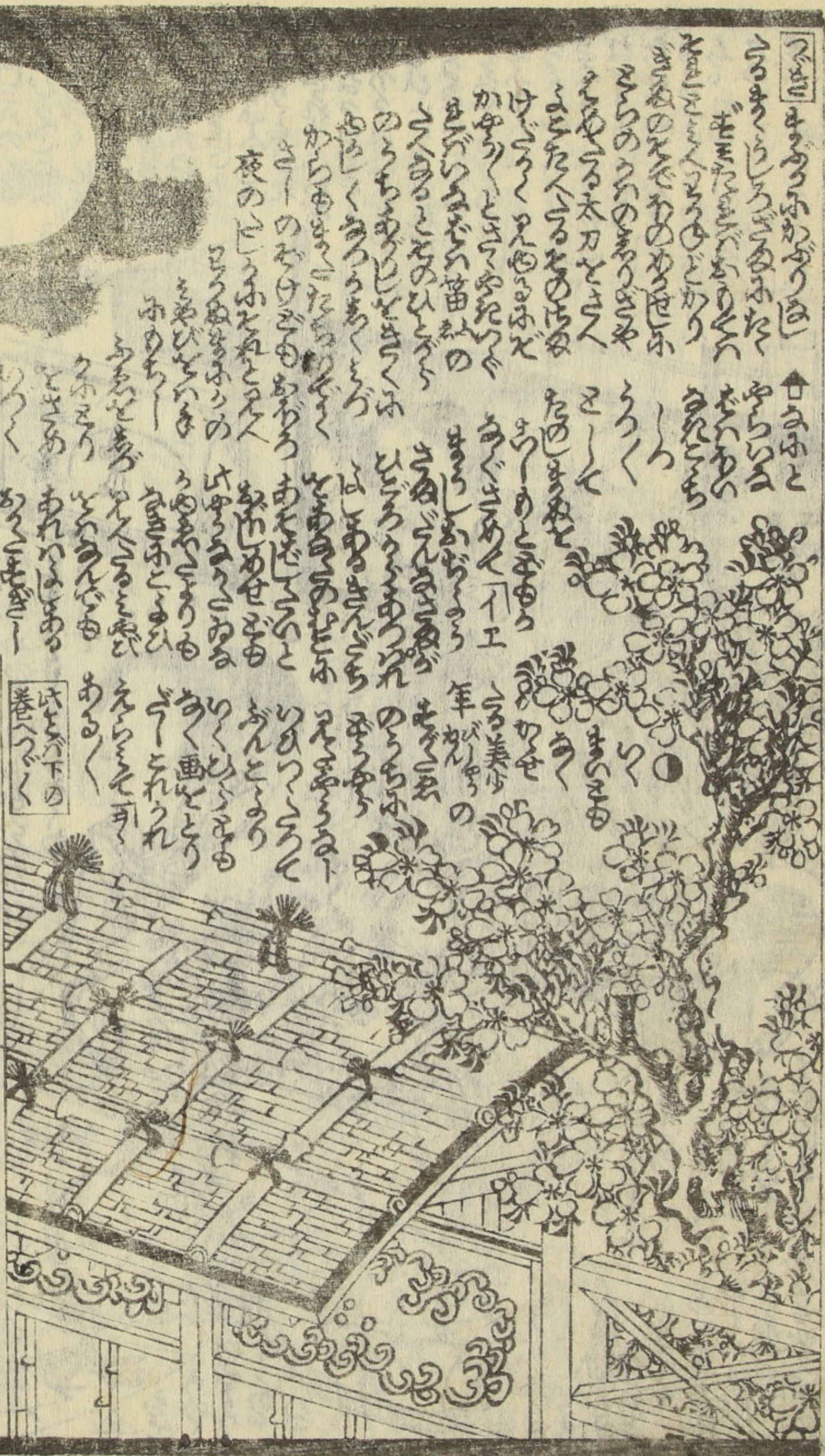
地本草紙問屋



人形町通 橋留町

大國屋金治郎

國貞画春水作



身鬼言言六

為永春水作

一壽齋國貞画

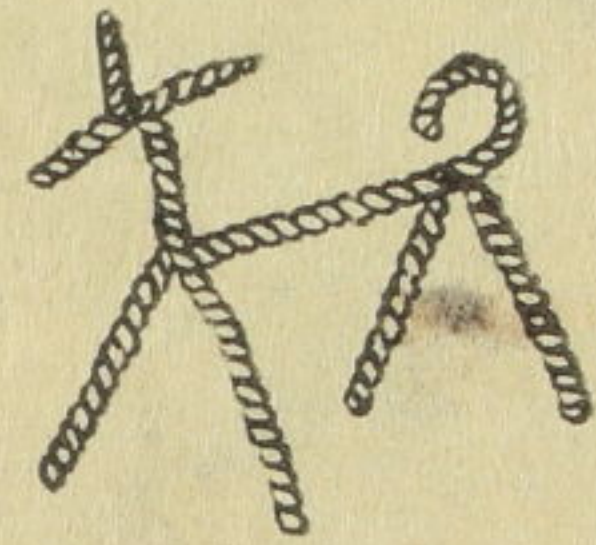
外題曲多國貞





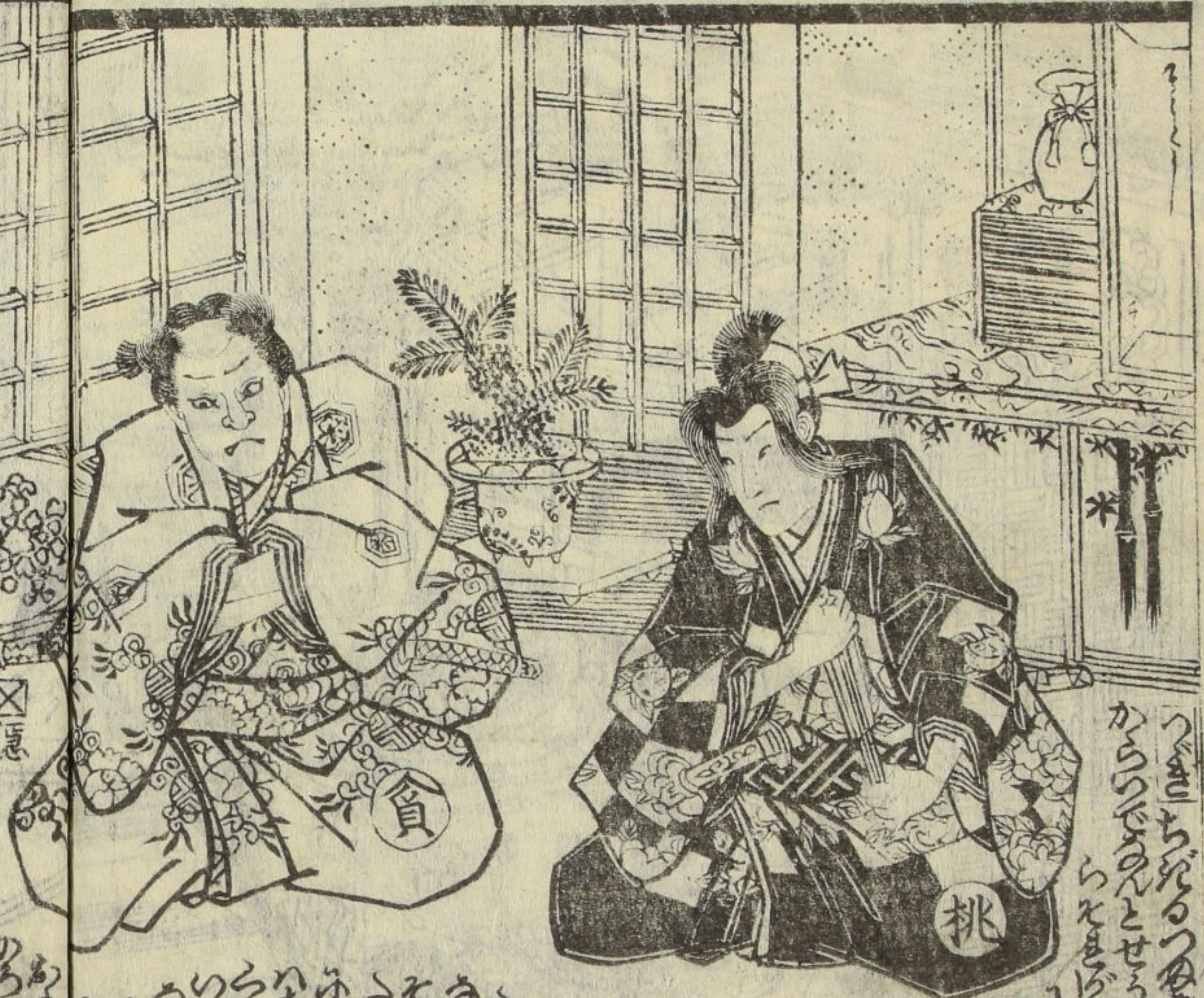
鬼未大吾六編

羨み
だんご
六角七
下集

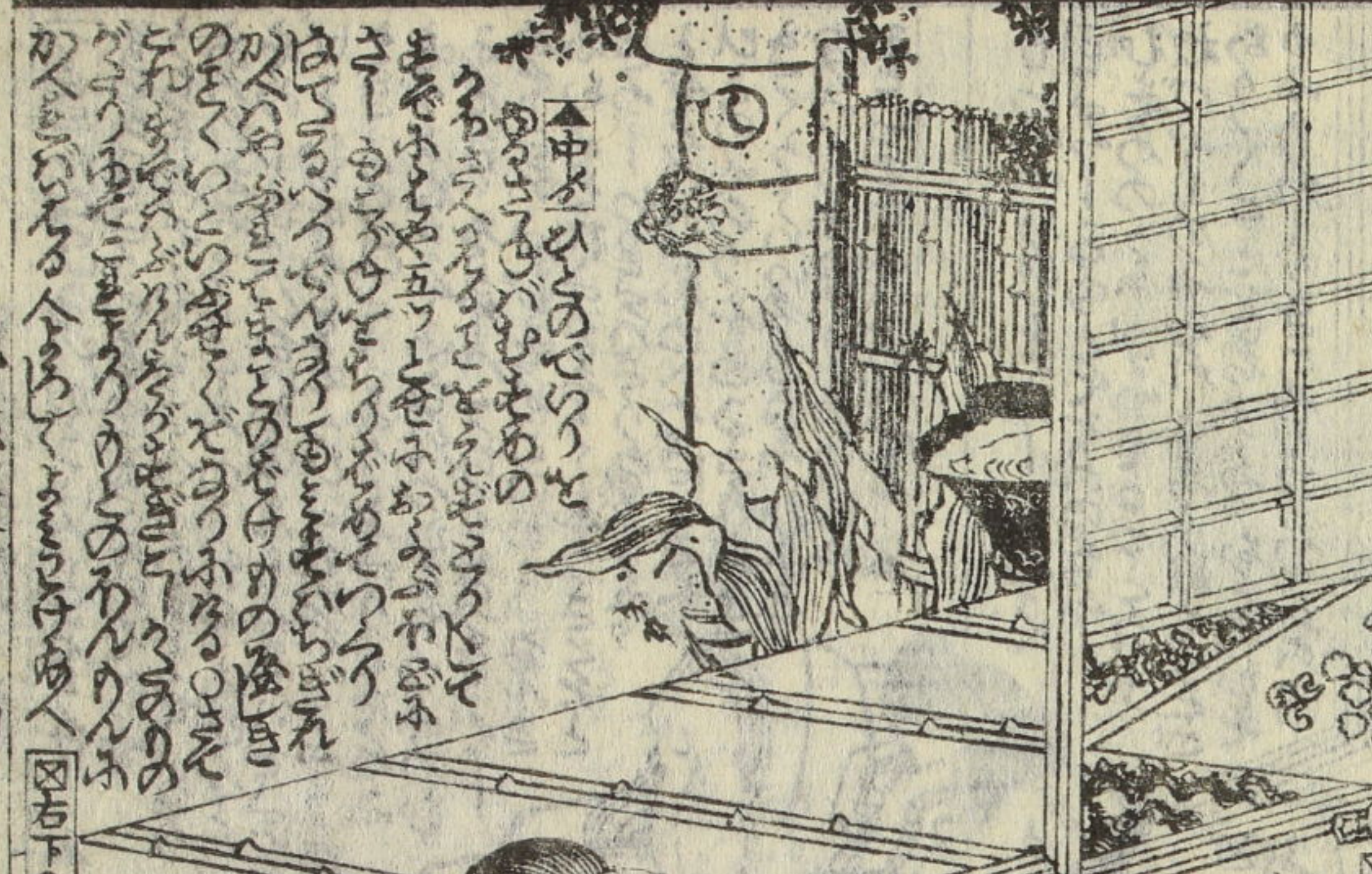


為、亦喜水化
歌川國貞画
梓元
榮久堂





かゝるにせしむるは... 桃... 左下... 右... 降伏... 世...

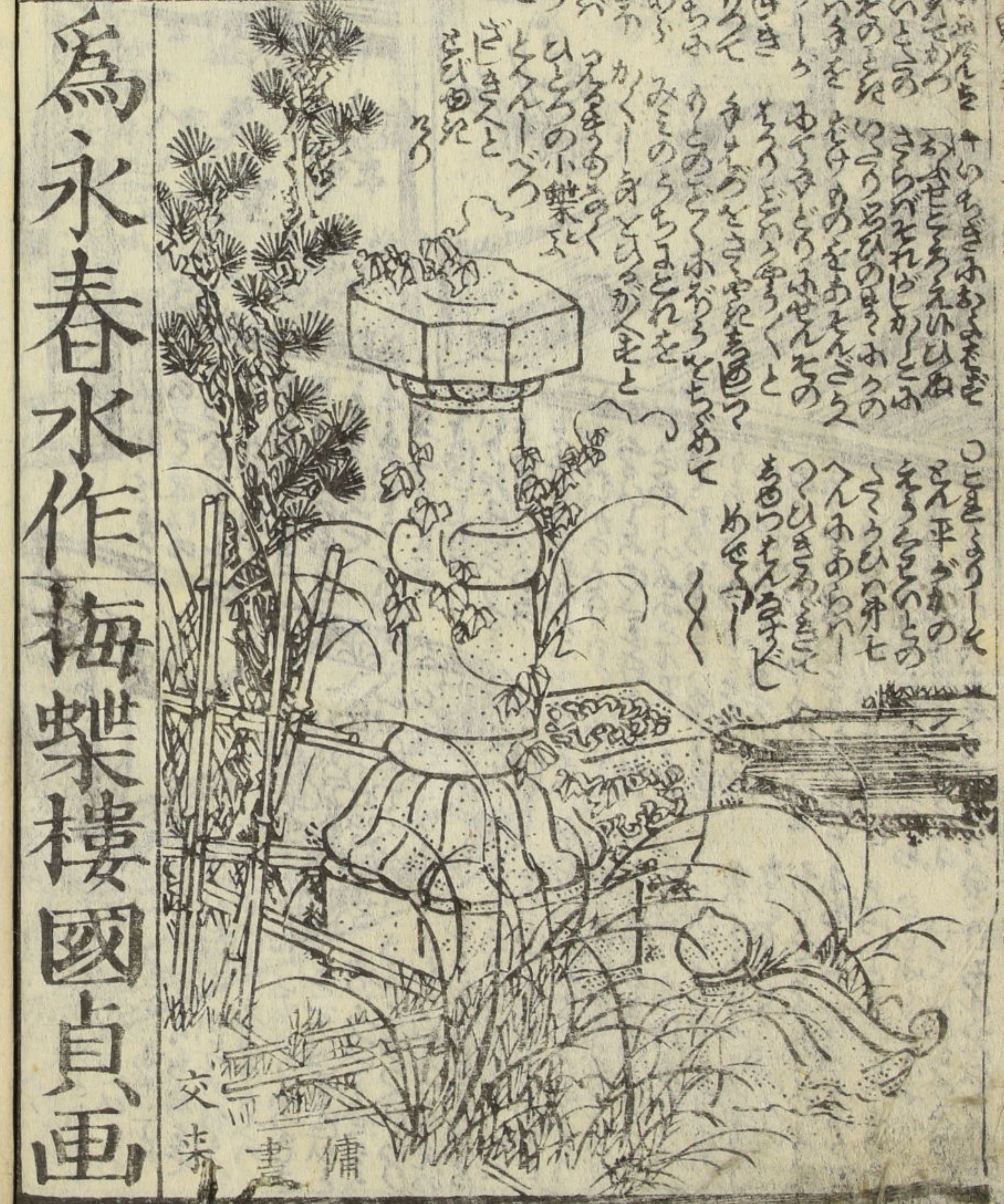


中... 右...

世...

安政七庚申歲新發行目錄

朝鮮牛肉丸 色銅
鮮 牛肉丸 色銅
カ一むいと補いえん
せいのますめ葉
かまのよみかまの
人さし用てり
下今まをんちり
對品 漆寺氏製
庄後



為永春水作梅架樓園貞画
交来書備

宮川の巻 繪巻
救世の巻 繪巻

靱繪紋劇袴
歌川國貞画

瀨川如皋作
川國貞画

武藏野の巻
地蔵の巻

三人娘 絹屋小説
二編 同

初編 同
画 作

新四季の
撰 たのしみ

遊山壽古六
この巻の巻
十一年の巻

この巻の巻
十一年の巻
二十一年の巻
二十二年の巻
二十三年の巻
二十四年の巻
二十五年の巻
二十六年の巻
二十七年の巻
二十八年の巻
二十九年の巻
三十年の巻

板彩 福引

福引
ひき
ひ

ひき
ひ

地本草紙問屋
人形町通
堀留町

文慶堂 大國屋金治郎



椿説

鬼魅談語

六篇

善好化墨多

若多

